

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公表番号】特表2001-522783(P2001-522783A)
 【公表日】平成13年11月20日(2001.11.20)
 【出願番号】特願2000-516701(P2000-516701)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/08 (2006.01)
A 6 1 P 31/04 (2006.01)
C 0 7 K 14/33 (2006.01)
C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 C 1 2 R 1/145 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/08
 A 6 1 P 31/04
 C 0 7 K 14/33
 C 1 2 N 15/00 Z N A A
 C 0 7 K 14/33
 C 1 2 R 1:145

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月14日(2005.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

毒素の軽鎖のモチーフ：H i s - G l u - X - X - H i sのうち少なくともH i sおよびG l uのアミノ酸が変異しているところの修飾ボツリヌス毒素であって、無毒性であり、かつ消化管から体循環への移動能を有する、修飾ボツリヌス毒素。

【請求項2】

C血清型である、請求項1記載の修飾ボツリヌス毒素。

【請求項3】

その変異がH i s 2 2 9 G l y、G l u 2 3 0 T h rおよびH i s 2 3 3 A s nを含むところの、請求項2記載の修飾ボツリヌス毒素。

【請求項4】

さらに、選択された抗原および治療剤を含む、請求項1ないし3のいずれか一項に記載の修飾ボツリヌス毒素。

【請求項5】

請求項1ないし4のいずれか一項に記載の修飾ボツリヌス毒素と、医薬上許容される担体とを含む医薬組成物。

【請求項6】

ワクチン調製のための、請求項1ないし3のいずれか一項に記載の修飾ボツリヌス毒素の使用。